

(人を対象とする医学系研究に関する倫理指針に則る情報公開)

このたび以下の研究を実施いたします。本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【研究計画名】 発達障害者におけるレジリエンスの要素に関する研究

【研究責任者】 稲垣真澄

【本研究の目的及び意義】

困難な状況におかれると、人は誰でも落ち込みます。そして、落ち込んでから立ち直る経過には個人差があります。その個人差には、個人の特徴という内的な要因と友人・家族などの外的な資源が関係しています。良好に立ち直る経過は「レジリエンス」と呼ばれています。

発達障害をもつ青年は大学生活を送る中で様々な困難に出会うことも少なくありません。発達障害をもつ青年のレジリエンスの要素を明らかにすることができれば、病院を受診する発達障害者のアドバイスに役立てることにつながり、障がい学生支援の方法に活かすことができ、多くの大学に広く提言することができるものとわたし達は考えました。そこで、本研究では、発達障害傾向がある、あるいは発達障害との診断を受けている青年におけるレジリエンスの要素を検討するために、大学生を対象にした調査を実施いたします。なお未成年大学生の場合ご本人が参加に同意されても、保護者の方に研究参加を拒否する権利がございます。問い合わせ窓口にご照会ください。

【本研究の実施方法及び参加いただく期間】

対象となる方

2020年3月31日までの間に、本質問紙調査に参加された18歳以上の方

利用する試料・情報等

情報等: 年齢、性別などの質問項目

こころの健康に関する質問項目

ご自身の特徴に関する質問

家族・友人関係に関する質問

研究期間

2018年4月26日より2020年3月31日まで

2018年5月

○問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所

所属 知的・発達障害研究部 氏名 稲垣 真澄

電話番号 042-341-2712 内線 6273

e-mail: inagaki※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局

e-mail: ml_rinrijimu※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)